

## 平成28年度 都市農村共生・対流総合対策交付金 事業実施主体 評価一覧

### 【「農」を活用した医療・福祉との連携】 2件

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階					評価	評価コメント
				H25	H26	H27	H28	H29		
沖縄	沖縄県	北中城村	NPO法人サポートセンターゆめさき	—	—	●	●	□	A	しおさい市場(北中城村)や、きたポ(北中城村のアンテナショップ)と連携し、イベントや情報交換を行い地産地消の取組を行うとともに、アーサなどの特産品の新たな活用方法を検討した。 また、学校や企業とも連携し、北中城村の魅力の再発見に取り組んだ結果、計画に沿った取組を実施し、地域社会への貢献度も大きいと認められる。 特に本事業者の取組がTV番組に取り上げられるなど、積極的な事業の展開については、高く評価されるべきであり、今後も期待したい。 目標の達成状況では、交流人口、売上、雇用、その他指標は高い達成率となり、総合的に一定の成果を上げていると認められる。
沖縄	沖縄県	うるま市	NPO法人ていだ与勝	—	●	●	■	—	B	平成27年2月に廃校を利用した障がい者就労継続支援A型事業所を開設し、ハローワークを通じて利用者が増加した。平成28年度については、「農」を活用した医療・福祉との連携など計画した各種取組を実施した。 目標の達成状況では、交流人口及び雇用については概ね目標を達成したものの、売上については低い達成率(未達成)であり、今後も継続して売上の増加を図る取組を行う必要がある。

(注1) 「事業実施段階」の凡例: ○…交付対象年度(計画) ●…交付対象年度(実施済) □…目標年度(計画) ■…目標年度(実施済)

(注2) 「評価」の区分: A…優良 B…良好 C…低調

### 【平成28年度都市農村共生・対流総合対策交付金の評価概要】

#### ○集落連携推進対策(「農」を活用した医療・福祉との連携)

今回の評価では、平成26年度に採択されたNPO法人ていだ与勝、平成27年度に採択されたNPO法人サポートセンターゆめさきの事業実施結果について評価を行った。  
NPO法人サポートセンターゆめさきについては、共生・対流促進計画に基づく取組がほぼ実施され、成果も十分上がっていると認められることから評価は「A」となった。一方、NPO法人ていだ与勝については、取組が一定程度実施され、成果もある程度上がっていると認められることから評価は「B」となった。  
2団体とも本交付金により各団体の地域の課題解決、交流推進等の取組基盤が強化され、一定の成果が出ていると認められる。

## 【平成28年度都市農村共生・対流総合対策交付金評価委員会の議事概要】

### 【評価委員会】

1. 日 時 平成29年9月29日(火) 14時00分～15時00分

2. 場所 沖縄総合事務局 会議室

3. 出席者

・評価委員会委員 3名 (五十音順)

幸喜 徳子 沖縄石油ガス株式会社代表取締役会長

杉村 泰彦(委員長) 琉球大学農学部准教授

有木 真理 株式会社リクルートライフスタイル沖縄代表取締役社長

・評価委員会事務局

沖縄総合事務局担当者 2名

### 4. 議事概要

1)都市農村共生・対流総合対策交付金の評価について

・集落連携推進対策(「農」を活用した医療・福祉との連携)の各実施団体の評価内容(案)について、委員からの意見聴取を行った。

2)都市農村共生・対流総合対策交付金の評価結果(案)の取りまとめ

・上記1)の結果を踏まえ、集落連携推進対策(「農」を活用した医療・福祉との連携)の各実施団体の評価結果(案)について、公表用評価コメントを様式に取りまとめた。

### 5. 評価委員会委員の主な意見

①NPO法人サポートセンターゆめさき

・数値では直接把握できない農福連携において、どのようなことができ、いかなる課題が残っているのか、知見を整理して残すべきである。それができれば今後は実績と併せて取組自体が高く評価されると思われる。

②NPO法人ていだ与勝

・廃校の活用、障がい者、高齢者雇用の拡大といった地域の重要な課題に取り組んでおり、今後は売上を上げるために、地域の魅力を深掘りしてPRをして欲しい。

担当者：沖縄総合事務局農林水産部農村振興課